

「熊本地震後の復旧と創造 的復興」に向けた取組み

平成30年8月31日

阿蘇広域観光連盟

会長 稲吉淳一

【熊本地震の規模、県民への影響】

| | 震度6弱 以上 | 余震 (発災から 15日間) | 被災市町村人口 (震度6弱以上) | 最大避難者数 (※1) |
|--------------|----------------------|----------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 熊本地震 | 7回 (うち震度7 が2回) | 2,959 回 | 約148万人 (<u>県人口の 約83%</u>) | 約18.4万人 (<u>県人口の 約10%</u>) |
| 阪神・淡路 大震災 | 1回 | 230回 | 約232万人 (同42%) | 約31.7万人 (同5.7%) |
| 新潟県 中越地震 | 5回 | 680回 | 約38万人 (同16%) | 約10.3万人 (同4.2%) |

※1 指定避難所内の避難者数であり、車中泊等の人数は含まれない。

【被害の概要】

※H30.4.13時点の数値
(H28.6に発生した大雨による地震関連被害を含む)

(1) 人的被害

| | |
|-----|--------|
| 死者 | 264人 |
| 重傷者 | 1,179人 |
| 軽傷者 | 1,553人 |
| 計 | 2,996人 |

(死者の内訳)

- 地震による直接死 50人
- いわゆる関連死 214人

(2) 住家被害

| | |
|------|----------|
| 全壊 | 8,663棟 |
| 半壊 | 34,498棟 |
| 一部損壊 | 154,074棟 |
| 計 | 197,235棟 |



【被害額】

被害額

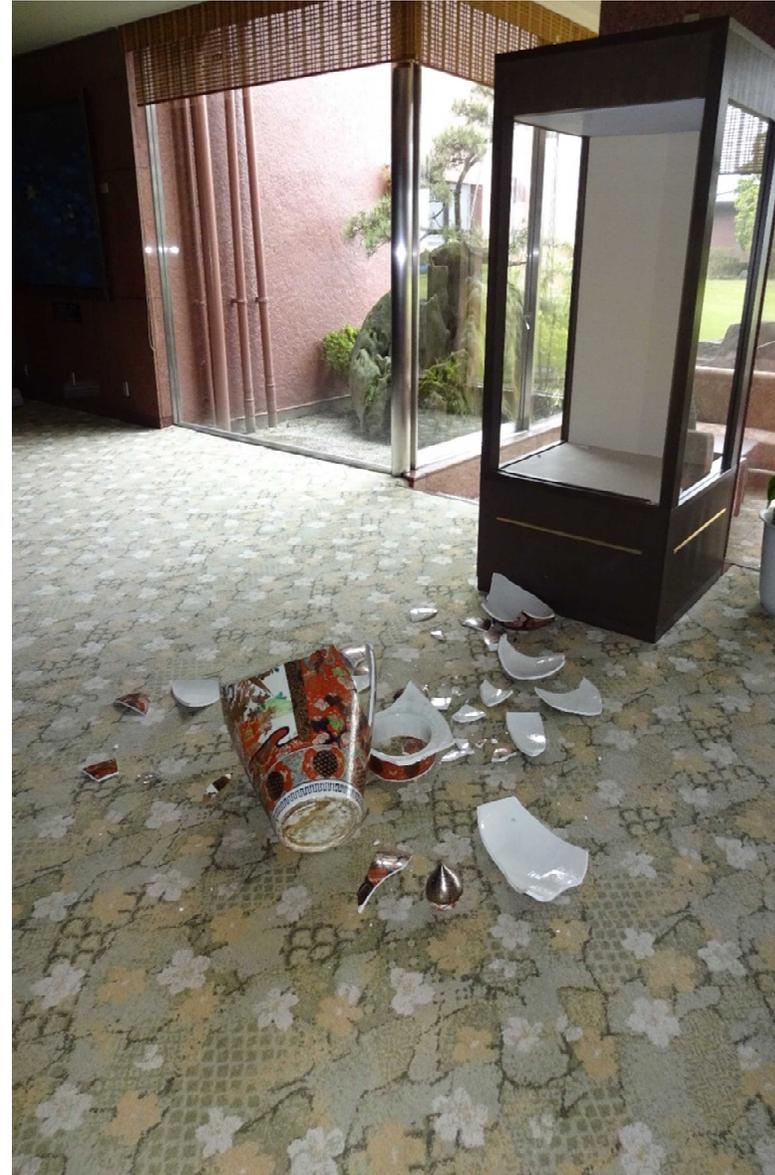
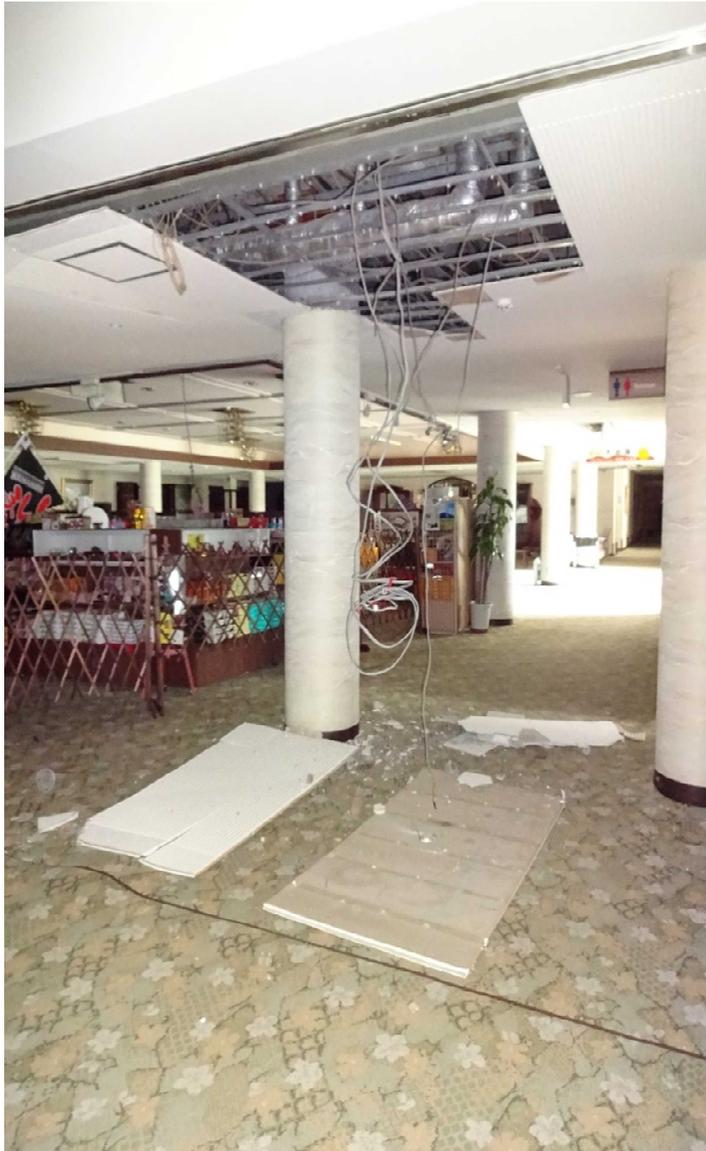
約3.8兆円
(H28.9.14時点)

《主なもの》

- ・住宅関係 (建物、土地、家財)
- ・商工関係 (宿泊キャンセル除く)
- ・公共土木施設
- ・農林水産関係
- ・文化財

2兆377億円
8,200億円
2,685億円
1,653億円
936億円

ホテルに行って最初に目にしたのは！



ホテルの状況は？



阿蘇内牧温泉の温泉が止まった！ 地下60Mで1.5Mのズレで配管切れた！



九州ふっこう割（実績）

九州観光支援のための割引付旅行プラン助成制度「九州ふっこう割」

熊本地震により落ち込んだ旅行需要を早期に回復するため、国の交付金を活用し、九州7県及び九州観光推進機構で、割引旅行商品や割引宿泊券の販売及び、国内外への各種プロモーションを実施。

◆キャンセル → **33万人泊**

◆九州ふっこう割〈最大割引率〉

| 上限割引率 | 第1期（7月～9月） | 第2期（10月～12月） |
|---------|------------|--------------|
| 熊本・大分両県 | 70% | 50% |
| 上記以外5県 | 50% | 40% |

◆九州ふっこう割宿泊者数（実績）

熊本県の宿泊者数 82万人泊

（参考）九州全体の宿泊者数 272万人泊

グループ補助金の進捗状況 (平成30年8月末現在)

グループ補助金活用により観光産業の復興が加速

◆全業種の交付申請予定件数 (5,085件)



◆うち観光サービス集積型 (413件)



※グループ補助金: 被災した中小企業等の施設復旧等の一部を国・県により補助
補助率最大3/4、限度額15億円

インバウンド対策

正確な情報発信

facebook

- 多言語発信
→ 旅館周辺状況・火口の状況・雲海情報等

おもてなし

体験

- 折り紙、コマ回し
- ベジタリアン向けメニュー開発等

安全・安心

伝える

- 「訪日外国人旅行者の宿泊時における災害時初動対応マニュアル」
→ 国土交通省九州運輸局編集

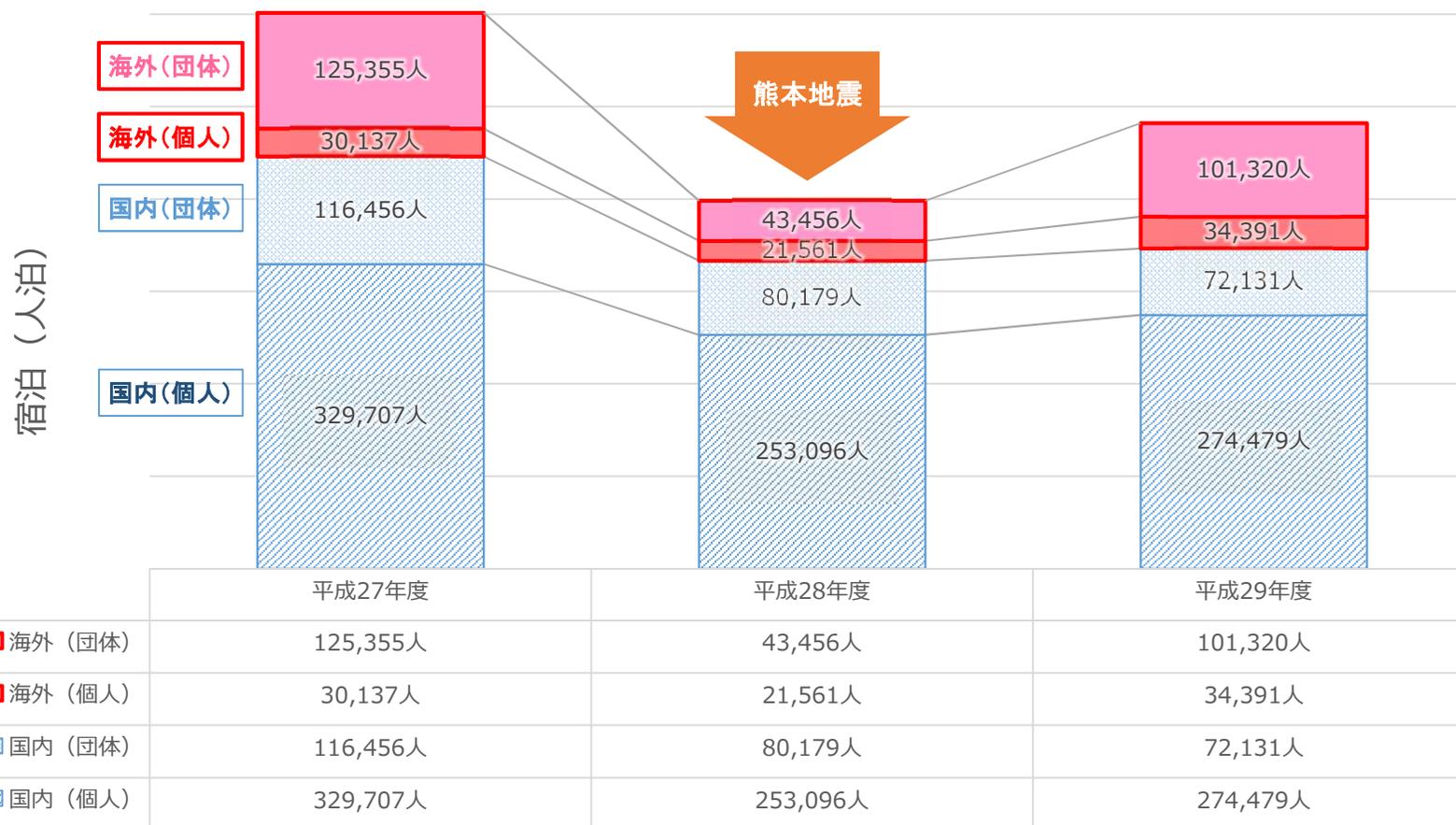
誘客対策

海外ツアー会社

- ○○社(韓国向け)
- ○○社(台湾向け) 等

阿蘇市主要38宿泊施設の宿泊人泊数推移

- 阿蘇地域を除く、県全体の宿泊者数は震災前の水準に概ね回復
- インフラ復旧途上の阿蘇地域は震災前の8割程度であるが、阿蘇地域のインバウンド、特に『海外(個人)』は地震前の水準に復調
- 平成30年度4~7月の速報値『海外(個人)』は、17,586人(震災前同月比:261%増加)



阿蘇広域観光連盟の設立

(All ASO Tourism Association)

1. 設立趣旨

熊本地震からの創造的復興の加速化に向けた、①阿蘇地域7市町村の観光事業者間のネットワークの強化、②ASOブランドの一層の浸透、③阿蘇地域全体への誘客促進等による持続的成長を果たし、「日本を代表する観光地としてのASO(阿蘇)」の実現を目指す。

2. メンバー

会長 稲吉淳一 (阿蘇市観光協会前会長)
副会長 後藤 巖 (高森町観光協会会長)
副会長 平野直紀 (南小国町観光協会会長)
理事 渡邊誠次 (小国ツーリズム協会会長)
理事 河津謙二 (一般社団法人みなみあそ村観光協会会長)
理事 真鍋 正 (西原村観光推進協議会)
理事 井 博明 (産山村観光協会会長)
監事 中竹博文 (西原村 阿蘇ミルク牧場)
監事 荒井邦生 (南小国町観光協会前会長)

3. 地図



今後の課題



大規模斜面崩壊により
①国道57号、②国道325号、③JR豊肥本線が
通行不能に！

基幹交通インフラ
等の復旧なくして、
阿蘇観光の復活なし！



阿蘇カルデラ (中央が阿蘇山。阿蘇山から北側上部が阿蘇市)

～周囲の長さ128km。このカルデラの中に約5万人が生活～

